

町長新年あいさつ

地域の活性化に貢献するセンターに期待

精華町長 木村 要



新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。
 平素は、精華町行政の推進にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。
 さて、高齢者がその経験と能力を生かし、働くことを通じて地域社会に貢献し、生きがいを見出すことを目的に、平成15年3月に任意団体として発足されました精華町シルバー人材センターも、今年3月には設立10周年を迎えられ、昨年も立派な業績を収められておられますことに対しまして、心から感謝申し上げます。
 これまでの実績に関しまして、年々、受注件数が伸びていることや会員数が増加していることは、貴センターの知名度が高まったことと、働く意欲のある方々が増加していることの証であり、ひいては健康長寿にもつながるものと大変嬉しく思っております。
 このことは、船越理事長を先頭に、役員と会員の皆さまのご努力が、住民生活の中にしっかり根を下ろして事業を推進されている賜物であります。

精華町は、今、限られた財源を有効かつ集中的に配分するため、「命を大切にすまちづくり」、「将来に希望の持てるまちづくり」、「住民が主役のまちづくり」を基本方針に掲げ、六つの重点的政策でまとめた施策などの具体化を進めています。

その中で、特に「健康長寿のまちづくり」は、シルバー人材センターの皆さまに直接かかわる政策であります。また、「環境共生のまちづくり」、「子どもを育むまちづくり」などの政策も、同センターの事業と深く関連しております。

昨年は、本町の最上位計画であります総合計画の改定の年にあたり、住民の皆さまのご意見なども幅広くお聞きする中で「精華町第5次総合計画」を策定しました。

この新しい総合計画に掲げております「人を育み未来をひらく学研都市精華町」という、まちの将来像の実現に向けまして、私を先頭に職員が一丸となって、今年も3万7000人の町民の皆さまの安全・安心のため、各施策を着実に進めてまいります。

しかし、行政課題の解決には、幅広い町民の皆さまのご協力、とりわけ永年の経験と知識、人脈で培われた同センター会員の皆さまのご支援が欠かせません。

もちろん、シルバー人材センターの運営に対しましては、精華町としましても、できる限りの支援を惜しまない覚悟でおりますし、また、地域の活性化にも貢献していただくセンターとして大いに期待しており、引き続き、今までと同様に、連携を深めてまいりたいと考えております。

今後も、精華町シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のあいさつとします。

理事会等のうごき

平成24年度第5回理事会

平成24年10月12日（金）

第14号議案

平成23年度第2次収支補正予算（案）の承認について

第15号議案

公益社団法人精華町シルバー人材センター適正就業基準の一部改正について

全議案を可決しました

表紙の写真：光台7丁目の鳥谷公園



鳥谷公園は緑地等の現況地形のうえに数段の色違いの石積みテラスをあしらって設計されています。中でも目を引くのは直径2mのステンレス球(写真上)ですがこれは1985年(昭和60年)にこの地域が関西文化学術研究都市として事業着手されたときの記念のモニュメントなのです。(提供:岩里良巳)